

【第109回生涯教育講座】

口腔がん早期発見の取り組み

せき ね じょう じ
関 根 浄 治

キーワード：口腔がん，早期発見，細胞診，かかりつけ医療機関，検診

要 旨

口腔がん罹患患者数は，増加の一途を辿っており早期発見が望まれる。われわれは，細胞診を用いる口腔がん検出システムを構築し運用している。本システムは，かかりつけ医療機関と島根大学医学部歯科口腔外科学講座，そして検査センターである公益財団法人ヘルスサイエンスセンター島根との連携で運用するものである。

本システムは，実際のがん治療に携わる歯科医師2名が細胞診断を行っている。したがって，報告書には口腔外科専門機関への紹介や病理組織検査等，臨床に即したコメントを記載できる利点がある。

2007年12月1日から2014年12月31日までの7年間に，915例の細胞診検体を受け付けた。そのうち30例に口腔扁平上皮を検出できた（検出率3.27%）。

対策型口腔がん検診におけるがん検出率は約0.1%未満とされており，本システムの有用性が示唆された。

1. はじめに

近年，各都道府県歯科医師会主導による口腔がん検診が全国各地で行われるようになってきた^{1,4)}。本邦で報告されている口腔がんの発症率は約1～2%（頭頸部がんで約4%）にすぎない⁵⁾。しかし，口腔がんの発症は，咽頭がんを含め増加傾向を示しており，2015年には現在の約1.6倍（10,000人/年）になると予測されている^{6,7)}。

口腔内は唾液や細菌叢により，慢性炎症の状態にある⁸⁾。さらに口腔粘膜は，全身状態や食物による温度・機械的刺激により，常に色調等の変化が起こっているため，視診や触診のみによる病変の鑑別には難渋することがある⁹⁾。また，舌縁部の腫瘍（口腔扁平上皮癌の好発部位）は，図1に示すように舌尖を十分に牽引し舌縁を展開しないと発見できない。

そこでわれわれは，口腔がんの早期発見を目的に，細胞診を用いた口腔がん検出システムを構築した¹⁰⁾。本システムは，かかりつけ医療機関と島根大学医学部歯科口腔外科学講座，そして検査セ

Joji SEKINE

島根大学医学部歯科口腔外科学講座

連絡先：〒693-8501 出雲市塩冶町89-1